

アメリカツノクサネム

マメ科，一年生



アメリカでは大豆などの畑作物の主要雑草で，輸入穀物に混入して日本に移入している。本県では，2016年に県南地域の大豆ほ場で侵入が確認されたが，大豆ほ場内外を問わず，発生実態は不明である。

発生期間	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
	※本県での詳細な発生期間は未確認											



形態的特徴	(在来のクサネムとの違い) 草高はおおむね1.5m以上，最大3mと大型化する。 莢が15～20cmと長い。
生態的特徴	・西日本において，水稻を含む2年3作体系で発生量が変わらなかった事例がある。
化学的防除法	・非選択性を除いて除草剤の効果は期待できないと考えられる。
耕種的防除法	・侵入初期に手取り除草を徹底する。